

飽くなき挑戦

進化と深化を究める

WORKホイール



●協力/ワーク www.work-wheels.co.jp
PHOTO/稲田浩章
TEXT/岡本 晃 (オフィスアヘッド)

BRUSHED系

カスタム度激高な
グラインダー&ラップ塗装にも対応!



ブラックペイント後、天面(ディスク面)にグラインダーをかけ、さらにトップコートとして、グレークリアを吹きかけて仕上げた1本。ブラックリムとのコンビで、グラインダータトゥが怪しく光る。



製造により生まれるバリをなくし、窓(ディスク側面)をブラッシュしてヘアライン風に仕上げた。その後、天面をグラインダー研磨し、最後にクリア塗装している。



全面バフがけをした後に、天面をグラインダー研磨し、クリアをかけた後、銅パークリア塗装して完成。グラインダータトゥと側面のバフの輝き方の違いが美しい。



ディスクをブラックに塗り、そのうえにシルバーのラップ塗装が施される。細かい部分までラップされているが、ペイント方法自体に関しては企業秘密とのことだ。

歩みを停めないイスマこそが、トップメーカーである理由!

カスタムシーンにおいて、ホイールほどこいろいなジャンルがあり、刻々と流行が移り変わるアイテムはない。いくらか斬新なデザインであっても、その人気を持続させるのは難しいし、すぐに似たようなデザインが出てくるのはお約束。そのなかで常にシーンの先頭を走り続けるホイールメーカーが、「存じ「ワーク」である。企画から開発、製造、販売に至るまで、すべてをワンストップで行うワークは、生産数やラインナップ数を誇る世界有数のプロダクツメーカーである。しかし、量産メーカーという言葉でくれないのもワーク。記憶をたどれば、「グノール」では国内で初めてスポークの角を光らせるシャンファーマシニングを採用するなど、常に新しいことを提案してきた。取材現場に並べられていたのは、ブラッシュド系とペイント系、ブラックポリッシュ系という3つのプロトタイプ。ペイント系とブラポリ系は左ページで展開するので、まず、強烈なインパクトを放つブラッシュド系から見ていこう。驚きなのは、カスタムペイントシヨップ御用達のグラインダータトゥやラップペイントがされていること。なんせ手作業だから、量産メーカーでペイントがされるなんてことは、考えられなかったことだ。

「ポディペイントでやっていることをホイールに持ち込むのは大変でしたが、試行錯誤の中で新たな製法を見つけた。しかも、中でもグラインダータトゥはワークとして特許出願申請をしています(広報/吉川サン)。

グラインダータトゥで仕立てた3本のホイールは、同じデザインとサイズながら雰囲気まるで違う。下地はペイントかバフがけか、クリアの色味とその有無……。切削×クリア×塗装という3つのファクターを掛け合わせることで、まさに無限のカラリングが生まれるのだ。

「まだまだ開発段階ですが、量産メーカーでここまでできることを知っていただけだ」といいます。今後も、新たなカスタムメニューに取り組んでいきますよ。

ワークというメーカーが、刻々と移り変わるホイールシーンの先頭を走り続けられる理由。それは、常に挑戦し、進化し続ける企業スタンスにあった。

PAINT系

砂型を使った鋳造を
特殊塗料で再現!

往年のレーシングホイールのディスクは、どれも粗めのザラザラとした質感のものだった。その理由は当時使っていた砂型。金型で鋳造するとツルツルになるのに対し、砂型を使って鋳造することで生まれるのがこのザラザラとした質感である。今回撮影したホイールは、金型を使いながら、砂型ならではの粗いザラザラ感を再現している。製法によるものかと質問すると、これはなんと特殊塗料なんだとか。詳しくは企業秘密だが、マットブラックでは表現できない往年のテイストを見事に再現していた。ワーク社では「南部鉄」というコードネームで呼ばれるこの特殊塗料。旧車のみならず、幅広く人気が出そうな先進ペイントである。



南部鉄とネーミングされたペイント方法。砂型を使っていたところにザラ目の質感を再現する特殊塗料を使用。マットブラックでは出せない質感に注目。



EQUIP 01 EQUIP 02 EQUIP 03

BLACK POLISH系

進化形ブラポリ誕生?!
精緻な磨きと深みのある色に注目!

なんで今さらブラポリ? そんな疑問を持つなら、この2本のホイールの輝きを見て欲しい。通常ブラポリは、ブラックペイントしたディスクの天面を機械で磨いて生まれるが、無論複雑なデザインほど仕上げるのは難しい。よく見ると、このホイールはポリッシュ面が一番高くなっていないことがわかる。つまり、単純に天面を削るだけではなく、熟練した職人がハンドメイドでスポークを1本ずつ削り出し、ポリッシュ具合を均質に仕立てているのだ。また、塗装面は塗装後にバフをかけるという1工程を加えており、デザイン入り組んだところまで、キメの細かさを実現。よって深みのあるブラックとなっている。まさに進化形のブラポリなのだ。



SCHWERT QUELL SCHWERT REGNITZ



削っている部分が一番高いところではないのが分かるかな? つまり手作業で削っているということ。キメの細やかな塗装面は、軽くバフがけすることで生まれたものだ。



ジムニー★FLASH!!

各メーカーやショップが次々とアイテムを発表するなど、注目を集めるジムニー。中でも気になるアイテムやオススメなアイテムをピックアップして紹介していくぞ～!

REPORT!

WORK ワーク

よりレーシーなホワイトが新登場!

ワークの「CRAG CSJ」から限定色のホワイトが登場! 無駄のないシンプルなデザインと高い剛性を兼ね備えたこのホイールは、マットガンメタのみの展開だったが、今回のホワイトはよりレーシーな印象で、他のジムニーと違いを見せつけることができる。早くオフロードに出たくなってしまいう逸品だ!!



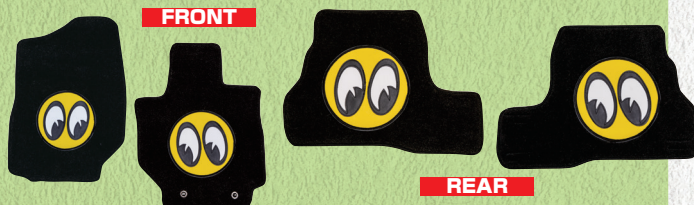
CRAG CSJ 価格: 2万9000円
サイズ: 16×5.5J 5H P.C.D. 139.7

ワーク 東日本コールセンター ☎ 048-688-7555
西日本コールセンター ☎ 06-6746-2859
中日本コールセンター ☎ 052-777-4512
www.work-wheels.co.jp

MOONEYES ムーンアイズ

みんな大好き MOONEYES から!

なんと MOONEYES から JB64 用の超キュートなフロアマットが登場! オーダーベースだから納期が1か月かかるけど、そのぶんジャストフィット間違いなし。フロント、リアとセットでの販売になっている。片方のみ希望の方はHPまで。また、MT用とAT用で形が異なるので気をつけてね!



MOONEYES
カスタムフィットフロアマットSUZUKI(スズキ)ジムニー(JB64型)
カラー: ブラック、グレー、ホワイト 素材: モケット 価格: 2万2000円 JB64用
ムーンアイズ ☎ 045-623-5999 www.mooneyes.co.jp

DATA SYSTEM データシステム

サイドカメラで安全をサポート

左サイドの死角をモニターに映すことで、安全運転をサポートするデータシステムのカメラキットは、車種別専用設計のカメラカバーでスマートに取り付け可能。視認性が高いから、安全確認もバッチリだ!



サイドカメラキット
価格: 標準: 1万8858円、LED内蔵タイプ: 2万762円

データシステム ☎ 086-445-1617 www.datasystem.co.jp

FABULOUS ファブレス

やんちゃテイストを授ける斜め出しデュアルマフラー!

ファブレスからは昭和の香りがただようマフラーをご紹介します。サウンドにこだわるため、あえて競技用部品として開発したというマフラーは、ヤンチャな斜め出しデュアルマフラー。定番のオフロード系とはまた違った良さを感じられる。



競技用センターマフラー 価格: 3万2184円
競技用リアマフラー 価格: 3万2184円

ファブレスジャパン ☎ 06-6656-5555 www.fabulous.co.jp

FLEX フレックス

スタイリッシュなシートカバーでインテリアもオシャレに!

FLEX ランクル店で入手することができるこちらのコンビシートカバー。ブラックレザーにストライプが入ったデザインが爽やかな合わせやすいタイプ(左)と、キャメルレザーとファブリックを組み合わせたレトロな雰囲気があるジムニーと相性抜群なタイプ(右)あり。好みによるけど、どっちを選んでも間違いなしだね!



コンビシートカバー 価格: 7万6700円



コンビシートカバー 価格: 10万3090円

FLEX www.flexnet.co.jp

COLIN PROJECT コーリンプロジェクト

カラーバリエーションが豊富なサンダーLEDテール

コーリンプロジェクトの人気LEDブランド「エムプロ」からサンダーLEDテールがリリース! 5色の豊富なカラーリングの中から自分好みを選べるのがウレシイ。流行の流れるウインカーをジムニーで楽しむことができる。LEDなので明るさの面でも太鼓判のアイテムだ!



サンダーLEDテール
JB64W ジムニー流れるウインカー



レッドレンズ 価格: 3万4500円

コーリンプロジェクト ☎ 092-957-0811 http://wheel.co.jp